

## 高等部 国語科Aグループ 学習指導案

日時 : 12月18日(木)2校時  
場所 : 高2教室  
生徒 : 高等部2、3年 5名  
指導者 : 杉渕 美帆子

### 1 単元名 豊かな表現で伝え合おう ～テーマについて話し合う～

#### 2 単元の目標

- (1) 考えとそれを支える理由、事例など、情報と情報の関係を理解する。(知・技)
- (2) 立場や意図を明確にして、考えを伝え合う。(思判表)
- (3) 互いの考えとそれを支える事例を比較し適切か検証することを通して、自分の考えを広げたり深めたりする。(学・人)

#### 3 生徒と単元

##### (1) 生徒について

2年生男子1名、女子1名、3年生男子1名、女子2名の計5名の学習グループである。どの生徒も、友達と会話を楽しむ、教師に困り事を相談するなど、言葉を使って気持ちのやりとりをすることができる。また、指示や連絡を聞いて理解する、出来事を報告するなど、社会生活に必要な言葉でのやりとりがある程度でき、作業学習や校内現場実習で職員や職場の方々と比較的円滑にコミュニケーションをとることができた。文法や敬語、話し言葉と書き言葉の違いなど、言語の知識もある程度備わっており、相手や状況に応じて必要な言葉を選んで使うこともできる。

一方で、言葉でのコミュニケーションが十分ではないと思われる場面も多い。例えば、出来事や状況の一つの見方から捉えて、相手の思いを正しくくみとることが難しいことから、仲間との関係に不和が生じ、会話を重ねても修復できずこじれてしまう場面が見受けられた。また、特定の行動や発言から相手の人柄を誤解してしまう生徒や、ある不安な状況について少ない根拠から思い込みを膨らませてしまい望ましい行動がとれなくなる生徒もいた。

今後よりよい人間関係を築きながら社会生活を送るためには、言葉でコミュニケーションをとる力が重要となる。そのためには、言葉を使って考える力が必要である。事実として伝えられた情報を比較し、適切な根拠となり得るか考え直す経験を積むことで、物事を適切に受け止めようとする態度を育みたい。また、様々な情報の中から得た事実を事例として論理的に思考し、自らの意見として、筋道をたてて穏やかな言葉で相手に伝える力を育みたい。様々な情報を簡単に入手できる現代社会において、まもなく社会生活を送る生徒たちが、その情報を鵜呑みにせず正しく捉え、選んで活用しようとする態度を育てたい。

##### (2) 単元について

本単元は、自他の立場や意見を尊重し合いながら、理由とそれを支える事例を挙げて、考えを伝え合う力を育むことを目的としている。これまでの学習で生徒たちは、表現の幅を広げるための語彙を増やし、それを駆使して互いに思いや考えを伝え合い、コミュニケーションの楽しさを実感している。言葉で語り、自分の気持ちが伝わり、共感を得られるのはうれしいことである。さらに、自分と異なる見方や考え方をする他者を認めたり、異なる考えや意見を受け止めた上で吟味したりする力を備えることで、一段階進んだコミュニケーションができるよう本単元を設定した。テーマに対する意見や考えを伝え合う活動を通して、自分とは異なる意見や考えに接したとき、「否定された」と捉えるのではなく、まずは受け止めた上でその根拠となる事例を吟味することができるように、事実と意見の関連、具体例の挙げ方、伝える内容が適切かどうかを分析する方法など、段階的に学習を重ねる。お互いの意見とその理由を理解し、比較して、裏付けとする事例が適しているか効果的かを検証する。その上で、最終的な自分の考えをまとめ、言葉で表現する。伝え合う活動を経て、他者から得た情報によって自分の考えが変容したとき、またはより説得力のある根拠を得て強化されたとき、考えを広げたり深めたりすることができたと評価することができる。伝え合う学習を繰り返すことは、情報を検証しながらお互いの意見や考えを認め合い、周囲の人との関わりをより豊かなものにすると考えられる。

##### (3) 指導に当たって

###### 〈学習活動〉

- ・前時までの学習を振り返ることができるように、導入の際に前時までの学習内容をホワイトボードなどに掲示する。(主)
- ・学習への見通しをもって活動に取り組めるよう、本時の学習内容を板書に示す。(主)
- ・自分の考えに自信をもち、発言しやすくするために、同じ立場の人と考えを比較したり相談したりする時間を設ける。(主・対)

- ・お互いの考えの良さや課題に気付くことができるように、異なる立場の人同士が質疑応答する時間を設ける。(対・深)

〈場の設定、教材・教具〉

- ・お互いの考えを整理して考えやすくするために、発言の内容をメモしたカードを電子黒板に映し、それぞれの意見と理由、それを支える事例を比較できるようにする。(対・深)
- ・同じ立場の人と相談することや、異なる立場の人と意見交換することがしやすいようにお互いの顔や資料が見える座席配置にする。(対・深)

〈教師の働き掛け〉

- ・主体的な活動するために、単元の始めに生徒自身で話し合いたいテーマを考え、選択する時間を設定する。(主)
- ・お互いの意見を比較しながら話し合えるよう、テーマに関連した資料をあらかじめ準備し、理由を支える事例として参考にするよう促す。(対)
- ・生徒同士が敵対せず活発に意見を伝え合う雰囲気をつくるために、話合いの際の立場や座席を意図的に教師が指定する。(主・対)
- ・伝えたい内容を抵抗なく話すことができるよう、発言する際の話型をカードにして生徒の手元に置く。(主・対)
- ・生徒が様々な考えに触れテーマについて考えを広げたり深めたりできるように、話し合いが円滑に進まない時には、悩んでいる生徒に教師が助言する。(深)

4 指導計画(総時間数 10時間)

単元題材名、学習内容	目標	時数	関連する学習指導要領の項目
○豊かな表現で伝え合おう ・事実と意見	・事実と意見、原因と結果など、情報同士の関係について理解し、考えを支える事例の妥当性や説得力を検証する。(知・技)	2時間	1段階【知・技】 イ(ア)
○豊かな表現で伝え合おう ・比較と分類	・伝える目的に応じて情報を集める。(知・技) ・比較や分類をして、必要な情報を選ぶ。(思判表)	1時間	1段階【知・技】 イ(イ) 1段階【思判表】 A聞くこと・話すこと イ
○豊かな表現で伝え合おう ・具体化・抽象化	・伝える目的に応じて情報を集め、具体例を示すことで、説得力のある意見を述べる。(思判表)	1時間	1段階【思判表】 A聞くこと・話すこと イオ B書くことウ
○豊かな表現で伝え合おう ・テーマについて話し合う	・互いの立場や意図を明確にしなが、テーマについて事例に基づいた理由を述べながら話し合う。(思判表) ・自他の意見と理由を参考にして、考えを広げたり深めたりする。(学・人)	6時間 (本時5/6)	1段階【思判表】 A聞くこと・話すこと イエオ B書くこと アウ

5 本時の計画（総時数 9 / 10）

(1) 全体の目標

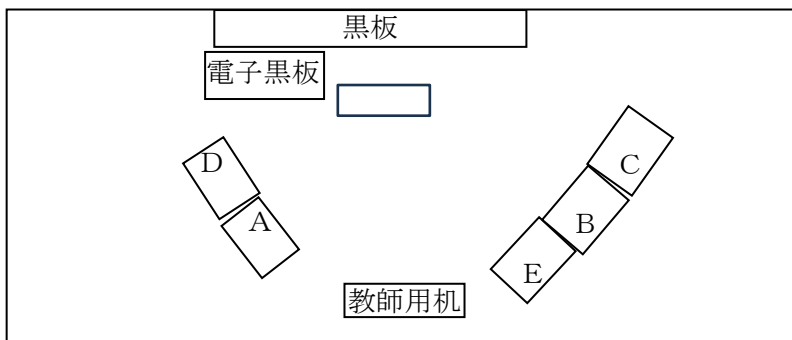
- ・ 立場や意図を明確にし、支える事例を検証しながら考えを伝え合う。（思判表）
- ・ 自他の考えを支える事例を吟味することで、考えを広げたり深めたりする。（学・人）

(2) 個別の目標

氏名	生徒の実態と学習の様子	単元（題材）の目標 【関連する自立活動の 区分、項目】	本時の目標 【関連する自立活動の 区分、項目】
A	自分の意見や考えを論理的に伝えることや、他者が伝えようとしている考えを言葉の表面的な意味で捉えてしまうことが多く、客観的に捉えることが苦手である。安心できる人間関係の中では、積極的に自分の思いや考えを表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考えを伝えるためには、理由と事例が大切だと理解する。（知・技）</li> <li>・ 自他の立場や意図を理解して、考えを伝え合う。（思判表）</li> <li>・ 互いの考えや事例を吟味して、自分の考えを広げたり深めたりする。（学・人）</li> </ul> <b>【3－（1）】【3－（2）】【6－（5）】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の考えを、事例を明らかにして効果的に伝える。（思判表）</li> <li>・ 他者の考えを受け止めてその理由と事例を客観的に吟味することで、考えを広げたり深めたりする。（学・人）</li> </ul> <b>【3－（1）】【6－（5）】</b>
B	相手との関係性を心配して遠慮してしまい、自分の意見や考えを積極的に伝えることは少ない。誰かの発言の後で発言することが多い。興味のある内容については意欲的に話し合い、学習に向かうことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理由と事例によって相手に考えを伝わりやすくなることを理解する。（知・技）</li> <li>・ 自他の立場や意図を理解し、考えが伝わりやすい事例を挙げながら話し合う。（思判表）</li> <li>・ 互いの考えや事例を吟味して、自分の考えを広げたり深めたりする。（学・人）</li> </ul> <b>【3－（1）】【3－（2）】【6－（5）】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の考えを、事例を示しながら伝える。（思判表）</li> <li>・ 他者の意見についてその理由を吟味することで、考えを広げたり深めたりする。（学・人）</li> </ul> <b>【3－（1）】【6－（5）】</b>
C	物事を客観的に捉えることや、他者の意見を吟味する力に課題があり、自分の思いと異なる相手の意見の取り入れることが難しい。積極的に学習に取り組むことが多く、自分の考えたことや意見を、意欲的に周囲に伝えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考えを伝えて相手の理解を得るためには、理由と事例を吟味する必要があることを知る。（知・技）</li> <li>・ 自他の立場や意図を理解し、発言の内容を比較しながら話し合う。（思判表）</li> <li>・ 自他の考えを受け止め、事例を吟味した上で、自分の考えを広げたり深めたりする。（学・人）</li> </ul> <b>【3－（1）】【3－（2）】【6－（5）】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の意見や考えを、理由を示しながら論理的に伝える。（思判表）</li> <li>・ 様々な考えについてその理由を吟味することで、考えを広げたり深めたりする。（学・人）</li> </ul> <b>【3－（1）】【6－（5）】</b>
D	相手が伝えた内容を自分に都合よく捉えてしまうことが多い。感情的になると、相手や状況に合わせた話し方が難しいことや、論理的に伝えられないことがある。自分から意欲的に興味のあることを調べることや、意見や考えを積極的に伝える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 説得力のある意見には、理由と事例が必要だと理解する。（知・技）</li> <li>・ 異なる立場や考えを受け止め理解した上で、言葉を選びながら自分の考えを伝える。（思判表）</li> <li>・ 互いの考えや事例を吟味して、自分の考えを</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の意見や考えを、説得力のある理由を示しながら伝える。（思判表）</li> <li>・ 他者の意見を受け止めてその理由を様々な視点から吟味することで、考えを広げたり深めたりする。（学・人）</li> </ul> <b>【3－（1）】【6－（5）】</b>

	ことができる。	広げたり深めたりする。(学・人) 【3-(1)】【3-(2)】 【6-(5)】	
E	自分の意見を積極的に伝えることは少ないが、周囲に求められると考えて発言することができる。学習への意欲が高く、与えられた課題に一生懸命取り組もうとすることが多い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見は、理由と事例に支えられていることを理解する。(知・技)</li> <li>自他の立場や意図を理解し、自分の意見に理由と事例を加えて伝える。(思判表)</li> <li>互いの考えや事例を理解し吟味することで、自分の考えを広げたり深めたりする。(学・人)</li> </ul> 【3-(1)】【3-(2)】 【6-(5)】	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えと理由を、事例を示しながら伝える。(思判表)</li> <li>他者の意見の理由やそれを支える事例を理解し、考えの参考にする。(学・人)</li> </ul> 【3-(1)】【6-(5)】

(3) 配置図 <高等部2年教室>



(4) 板書計画

<p>まとめ 相手に考えを伝えるときには、( ) 事例があると伝わりやすい。</p> <p>ふりかえり</p>	<p>テーマについての 説明・図</p>	<p>討論のしかた</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 氷鬼にする理由・事例</li> <li>② 風船バレーにする理由・事例</li> <li>③ 相談</li> <li>④ 質問・反論</li> <li>⑤ 最終的な考え</li> </ol>	<p>テーマ 学部集会お楽しみコーナーに提案するべき種目は氷鬼か風船バレーか。</p> <p>学習課題 どのような事例があれば、考えが伝わるのだろうか。</p> <p>豊かな表現で伝え合おう 〜テーマについて話し合う〜</p>
---	--------------------------	--	---

(5) 参考資料 (教科書や教材等)

別紙参照

(6) 学習過程 ※ **ゴシック体太字**は、本時の目標の達成に関連した自立活動の区分、項目  
網掛けは個別の目標に関わる働き掛け、手立て

時間(分)	学 習 活 動	教師の働き掛け、手立て	準備物等
9:45 (1)	1 始めの挨拶をする。	・授業への心の準備ができるよう、学習内容を見通せる板書を作る。	i P a d 電子黒板
9:46 (3)	2 学習課題と学習内容の確認	学習課題 どのような事例があれば、考えが伝わるのだろうか。 ・前時までの学習内容を振り返り、本時につなげられるよう、学習した内容をホワイトボードや電子黒板で示す。	
9:49 (24)	3 テーマについて話し合う。 (1)氷鬼を提案する理由と事例 (2)風船バレーを提案する理由と事例 (3)相談タイム (4)質問・反論	テーマ 「学部集会お楽しみコーナー」に提案すべき種目は、氷鬼か風船バレーか？ ・見通しをもって学習に取り組むことができるよう、予め自分の考えと、理由を支える事例をロイロノートの付箋にメモしておき、電子黒板や i P a d で見られるようにする。 ・事実に基づいて話し合うことができるよう、話し手は、資料を電子黒板に映す。 ・話すことへの苦手意識を減らすため、話し方の例を予め示し、必要に応じてカードを見ながら話すことができるようにする。 ・自分の意見や理由に自信をもって話すことができるよう、同じ立場の生徒同士が話し合える時間を設定し、席も近くなるよう配慮する。【3-(1)】	話し方の例 カード
10:13 (10)	4 テーマについての最終的な自分の考えを確かめる。	私は氷鬼に賛成だ。なぜなら、.....からだ。~という意見もあるかもしれない。しかし、.....ので、.....と考える。 私は風船バレーに賛成だ。はじめは、氷鬼と考えていたが、...という事例を知り、...に気付いたため、考えを変えた。 ・考えの変容や深化を見取れるよう、記録のしかたの型をいくつか例として示す。 ・自他の発言の内容を踏まえて最終的な考えをまとめられるよう、使用したメモや資料を i P a d で見られるようにする。 【3-(1)】	
10:23 (1)	5 お互いの考えを見合う。	・お互いの考えや、自分の考えの変容が見られるように、最終的な考えをロイロノートの提出箱に提出し、共有して、視覚的に見取れるようにする。【6-(5)】	
10:24 (6)	6 まとめをする。 考えを言葉で伝えるためにはどんな事例を挙げると効果的か、理解したことをまとめる。	考えを伝えるときには、(このような)事例があると伝わりやすい。 ・お互いの意見と理由の伝え方について客観的に振り返ることができるように、複数の観点を示す。【6-(5)】	
10:30 (5)	7 振り返りをする。 今後の生活に生かすことを意識しながら、学んだことを振り返る。	・前時までの授業での気づきを本時の気づきに生かせるよう、記録を見返しながら記入することを伝える。	振り返りシート
	8 終わりの挨拶をする。		

(7) 評価

- 〈生徒〉・互いの立場や意図を明確にしながら事例を挙げて考えを伝え合い、最終的な考えをまとめているか。
- 〈教師〉・生徒がめあてを達成するための教師の手立てや、個に応じた教師の支援は適切であったか。

(8) 個別の目標（本時）に関わる支援

生徒名	目標を達成するための教師の働き掛け、手立て 【関連する自立活動の区分、項目】	支援を行う学習活動
A	<ul style="list-style-type: none"><li>異なる立場からの考えを受け止め、事例に基づいて考えられるよう、同じ意見の仲間と相談して検証する時間を設ける。【3-（1）】</li><li>話合いの中で述べられた内容を踏まえて自分の考えをまとめられるよう、メモや資料をiPadで見られるようにする。【6-（5）】</li></ul>	テーマについて話し合う 自分の考えをまとめる
B	<ul style="list-style-type: none"><li>発言するときに、内容を整理して考えを述べるができるように、予め自分の考える理由や事例を画面上に提示するとともに、話形を示す。【3-（1）】</li><li>最後に自分の考えをまとめるときに、話合いで述べられた内容を踏まえて理由を書くことができるように、全員のメモや資料をiPadで見られるようにする。【6-（5）】</li></ul>	テーマについて話し合う 自分の考えをまとめる
C	<ul style="list-style-type: none"><li>理由や事例が適切かどうかを客観的に考えられるように、テーマについて予め調べ、iPadに参考資料を準備する時間を設ける。【3-（1）】</li><li>お互いが述べた考えと理由を客観的に捉えられるよう、事例のメモや資料をiPadで見られるようにする。【6-（5）】</li></ul>	テーマについて話し合う 自分の考えをまとめる
D	<ul style="list-style-type: none"><li>事例に基づいて冷静に意見を述べるができるよう、メモや資料を話す内容を予め整理する時間を設け、話形を示して練習しておく。【3-（1）】</li><li>事例に基づいて客観的に考えられるよう、話し合う際の立場と座席を意図的に設定する。【6-（5）】</li></ul>	テーマについて話し合う 自分の考えをまとめる
E	<ul style="list-style-type: none"><li>話合いで考えを積極的に述べるができるように、伝えたい内容のメモを予め準備するとともに、話形を示し話すことへの抵抗を減らす。【3-（1）】</li><li>話合いの中で述べられた内容を踏まえて自分の考えをまとめられるよう、メモや資料をiPadで見られるようにする。【6-（5）】</li></ul>	テーマについて話し合う 自分の考えをまとめる

# 別紙

10:38 12月3日(水) 57%

← + [Hand icon] [Pencil icon] あ [Microphone icon] [Speaker icon] ... 送る

風船バレー 氷鬼

理由と事例

資料

質問・反論

テーマ3 「学部集会お楽しみタイム」に提案するべき種目は、氷鬼か風船バレーか。

私は風船バレーに賛成だ。はじめは反対していたが、( )という事例を知り、( )に気付いたため、考えを変えた。

私は風船バレーに賛成だ。なぜなら、( )だからだ。( )という考えもあるかもしれない。しかし、( )ため、私は賛成する。

私は氷鬼に賛成だ。はじめは反対していたが、( )という事例を知り、( )に気付いたため、考えを変えた。

私は氷鬼に賛成だ。なぜなら、( )だからだ。( )という考えもないかもしれない。しかし、( )ため、私は賛成する。